

今号の主な記事

- ◇新しい議長と副議長を選出……2面
◇市職員を募集……2面
◇福祉医療費助成対象者に新受給者証を送付……3面
◇保健だより……8面

あふれる笑顔は、まちの活力につながります



6月定例会議会で河野市長は所信表明を行いました。その中で5つの政策目標を掲げ、「西宮を“明るく元気なまち”として、さらに飛躍させるため、これまで培ってきた行政経験と知識を最大限に生かし、職員の英知を結集して市民の参画と協働のもと、一つひとつ心を込めて着実に実行していきます」と述べました。

河野市長の所信表明の概要を紹介します。所信表明の全文は市のホームページ(アドレスはページ下参照)の「市政情報」の「計画・政策・施策」の中の「お知らせ」に掲載。

6月市議会 河野市長が所信表明

明るく元気なまちに

市制85年という歴史を有し、48万人もの人口を擁する中核市の長として、大任を与えていただいた市民の皆様のご期待にお応えできるよう、全身全霊を自らの職責にささげる覚悟です。わがふるさと西宮は、だれもが住みたいと願うまちへと、その魅力を高めてきました。文教住宅都市を基調とする個性的な都市」の建設を目標とする本市の一貫したまちづくりの基本姿勢が、今日までの発展を支えてきたものであり、市民のふるさとを愛する情熱と合わせて、西宮のまちづくりの原点であると考えています。

私は、これまでのまちづくりの成果の上に立ちつつ、時代の変化に対応しながら、新たな課題にも挑戦していきます。西宮は、まちの多様な魅力が相まって、豊かな文教住宅都市としての優れた特性を人々に発信しています。また、西宮に愛



6月市議会です信表明を述べる河野市長

市民力と市の魅力を生かしたまちづくり

着を抱かれています市民のさまざまな活動も盛んでありこの「市民力」は本市の誇り得る財産です。

私は、このすばらしい「市民力」と本市の魅力を最大限に生かしたまちづくりを進め、「すべての市民が明るく元気に暮らせるまち西宮」をつくるため、5つの政策目標を掲げました。

① 子どもたちの夢をはぐむ学びのまち

子どもたちに質の高い教育を提供し、「文教住宅都市」に誇りをもてる「夢はぐむ教育のまち西宮」の実現に向けて、教育委員会とともに取り組みます。学校教育において、学校評価を一層活用し、その取り組みや成果を公表することで、家庭・地域と連携しながら教育の質の向上に努めます。

高等学校においては、質の高い教育を提供するために優秀な教員の確保に努めるとともに、学校の特長を伸ばすこと、就学前児童の教育・保育のあ

り方に関しては、幼稚園と保育所の連携を念頭に置き、今後設置予定の「仮称」西宮市幼児期の教育・保育審議会」に諮問します。また、幼稚園保護者負担の公私間格差の問題についても、今年度中に負担のあるべき姿や格差是正について、提言を求めていきます。

② 自然と都市環境に調和した安全安心なまち

美しい自然環境や良好な都市環境を備えた優れたまちの特性を生かしたまちづくりが快適で、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

今年3月に策定した「西宮市地球温暖化対策地方公共団体実行計画」に基づき、地域の特性や実状に応じた温暖化対策を進めます。

緑化の推進については、地域住民との協働により、安全で快適な公園づくりを進めるほか、民間住宅の生垣や壁面緑化を支援していきます。

今後、予想される南海・東南海地震による津波などに備え、今年度に整備が完了する防災行政無線を非常時の避難勧告・指示に使用するなど緊急に周知すべき事態に対応していきます。

あらゆる災害に迅速に対応できる体制づくりに向けて、市役所本庁舎周辺に総合防災センター機能を有する施設と耐震化の必要な西宮消防署との複合施設を整備することとし、必要な用地確保などに努めます。

③ すべての人にやさしい福祉の心あふれるまち

すべての市民が生涯にわたって安心して暮らすことができるよう、ニーズにあった保健・医

療や子育て支援などの施策を展開し、心の通った福祉のまちづくりを進めていきます。中学生までの医療費無料化やヒブワクチンの接種に対する助成を継続させるなど、今後も子どもたちの健康を守るための取り組みを充実させます。

保育所の待機児童解消に向けては、賃貸物件の活用も含め、新たな民間保育園の開設など、積極的な対策を行っています。さらに今後は、整備にあたり必要となる土地・建物の賃借料に対する補助制度を創設するなど、効果的な手法を検討します。

高齢者や障害のある人の福祉については、特別養護老人ホームなどの整備や権利擁護支援センターの開設準備を進めます。老朽化が著しい肢体不自由児通園施設「わかば園」については、「総合療育センター」として新たに施設整備することを検討します。

④ 賑わいと活気のあるまち

市内産業の発展を支援するとともに、文化・スポーツを振興し賑わいと活気のあるまちづくりを進めていきます。文教住宅都市にふさわしい企業の誘致に努めるほか、既存企業の定着に向けた仕組みづくりを検討します。また、映画撮影などの誘致や協力を行うフィルムコミッション活動に取り組むほか、新たな観光プランを発信し、都市の集客力を高め、市内産業の活性化につなげます。

新陸上競技場・新体育館などの整備が求められる中、必要な用地確保などに取り組みます。

大規模改修や更新の時期が順次到来する公共施設について適切な効率的な維持・活用や施設の再編を検討するため、公共施設マネジメントの取り組みに着手しています。当面は第一段階として、施設の基礎データを集約した「公共施設白書」を作成し、公表していく予定です。

⑤ 市民に信頼される公正で効率的な行政の実現

限られた経営資源を効率的で効果的に活用する行政改革を進め、市民満足度の向上を図ります。

「頑張る職員が報われる」メリハリのある給与制度を構築し職員の士気を高め、市民サービスの向上につなげます。

財政面においては今後増加が予測される行政コストを把握・分析し、必要な対策を講じます。さらに経常収支比率の早期改善を目指し、既存事業の見直しなど一層の行財政改革を行います。

事業の取捨選択については、市民および専門家の目線を加え、透明性を高めた事業点検を行う「西宮方式の事業仕分け」をモデル的に実施し、事業の再構築と職員の意識改革につなげていきます。

中央病院は施設の移転・建て替えも視野に入れ、外部有識者の意見も聴きながら、本市の医療環境の中で必要とされる公立病院の具体的なあり方を議論し、方向性を早急にまとめます。

大規模改修や更新の時期が順次到来する公共施設について適切な効率的な維持・活用や施設の再編を検討するため、公共施設マネジメントの取り組みに着手しています。当面は第一段階として、施設の基礎データを集約した「公共施設白書」を作成し、公表していく予定です。

西宮浜総合公園多目的人工芝グラウンドにおいては企業などの協賛を得て観客席を整備します。

推計人口 48万2107人(女2万3898人、男2万8209人) 世帯数 20万6153 面積 100.18km<sup>2</sup> 平成22年(2010年)6月1日現在